

経営者の
伴走



経営支援員との

HEART
TO
HEART

融資や情報提供のサポートを受け

老舗の知恵を活かして 新たな市場の開拓と 事業の拡大を目指しています。

事業継承からの新展開

前田直樹さんは、創業から200年を超えるかるたの老舗、大石天狗堂の9代目社長。4年前に事業を継承して以来、伝統から得た知恵を活かした新たな経営戦略を模索し続けていた。「近年になってかるたが教材に採用されたり、漫画の影響で競技かるた人口が増えたりという希望材料はあるのですが、家庭用玩具という本来の需要を考えると、先細りは避けられない。そこで培ってきた紙加工の技術を生かすことで、事業の幅を広げることが



株式会社大石天狗堂

代表者 前田 直樹 氏

金融担当 経営支援員

奥野 真一郎

株式会社大石天狗堂

代表者 / 前田 直樹

住 所 / 京都市伏見区両替町2丁目350番地-1

TEL / 075-603-8688

URL / <http://tengudo.jp>

事業内容 / 花かるた・百人一首・麻雀・囲碁将棋 製造卸

徹底して事業を見直す

「弊社としては京都商工会議所

考えました」。得意先から要望の多いオリジナルかるたの制作や、小売店頭で活用されるプライスカードなど、新たな分野へチャレンジすることを決意した。そのために、手作り感を残しながらも生産性を向上し、大ロットの加工に対応できる機械の導入に取り組んだ。この事業計画が中小企業庁の補助金に採択されると、より積極的な事業拡大の展開を目指して、2014年の夏にマル経資金融資の相談に訪れた。

かるたの未来をつくりたい

導入する機械はこの3月に稼働。新たな販路開拓のため、「京のイチ押し商品売り込み商談会」に参加するなど、京都商工会議所のマッチングや情報提供にも期待を抱く前田さん。とはいえ、商品の柱はあくまでもかるた。「老若男女が同じ目線で遊べる貴重なコミュニケーションツール。そのよさを見直していただけ機会もつくっていききたいですね」と伝統への誇りをのぞかせた。

客観的な視点からアドバイスを

私が担当いたしました /

京都商工会議所
中小企業経営支援センター
金融担当 経営支援員

奥野 真一郎

経営支援員として、私が大切にしていることのひとつは客観性です。支援先様のお話を親身になって伺うなかで、課題を整理するのは重要な仕事。冷静な視点とデータをもって分析し、アドバイスすることが必要な役割のひとつだと考えています。

大石天狗堂さんは京都が誇る老舗のひとつながら、前田社長はチャレンジ精神旺盛で、かつ豊富なアイデアと判断力をお持ちです。今後も的確な支援メニューや情報をタイムリーに提示することで、企業の次なる展開にお役立ていただけるようサポートしていきたいです。

担当支援員

